

4) B 型肝炎ウイルス

¹ 東京大学 医学部 感染制御学

○森屋 恭爾¹

B型肝炎ウイルス(HBV)感染患者キャリアを含め世界で3億5千万人、日本でも100万人以上存在すると推定されている。また臨床的には治癒したと考えられる HBs 抗体陽性者は日本においても1000万人を超えて存在すると考えられている。従来より臓器移植症例において HBV キャリアのみならず HBV 既感染者例においても免疫抑制剤使用により血清 HBV DNA 量の増加、すなわち HBV 再活性化がおこることが知られていた。現代の医療、薬剤の進歩とともに日常診療における免疫抑制剤、化学療法使用においても HBV 再活性化および de novo 肝炎がもたらされることが知られ我々医療従事者は注意を払う必要がある。この再活性化は HBV が肝細胞に感染することにより HBs 抗体陽性時であっても完全閉鎖二本鎖 DNA (covalently closed circular DNA, cccDNA)が細胞内に残存し、分子レベルでは HBs 抗原陽性といえる状態が原因となっている。